

第2回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：平成30年11月1日（木）

午後1時30分から

場所：弥富市 十四山支所 第4会議室  
（十四山支所3階）

○議 事

1.開会

事務局 (伊藤課長)	・ただ今から、平成30年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。
---------------	--

2. 弥富市副市長挨拶

事務局 (伊藤課長)	・はじめに、大木弥富市副市長よりご挨拶をいただく。
大木副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実は帯状疱疹で、この間まですごい格好…これでもすごいと思うが、やはり異変を感じたらすぐお医者さんに、というのが原則かと思う。健康には自信を持っていたが、今回のことで自信がぐらついた。</li> <li>・本日は第2回弥富市地域公共活性化協議会にお忙しい中お集まりいただき感謝する。</li> <li>・公共交通の維持・確保において、きんちゃんバスの運行改善等ご協力いただき、毎年より良い方向に向かわせていただいている。</li> <li>・今日は、お手元の次第にもあるように利用者実態調査結果等いろんな調査結果やバス停移設の協議、地域公共交通網形成計画の検討についてが主な議題になっている。さらにより良い状況を目指していきたいと思うので、よろしく願います。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	・本日の会議資料の確認をさせていただきます。
事務局 (岡田)	<p>会議資料の確認をする。 事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1：利用実態調査結果</li> <li>・資料2：バス乗降者数調査結果</li> <li>・資料3：モニタリング調査結果（利用者アンケート）</li> <li>・資料4：無料お試し乗車券配布結果</li> <li>・資料5：ひので保育所バス停の移設について</li> <li>・資料6：弥富市地域公共交通網形成計画見直し検討について</li> </ul> <p>がある。また、本日席上にお配りした資料として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運転手募集チラシ</li> </ul> <p>がある。不足等あれば、事務局まで願います。</p>
事務局 (伊藤課長)	・それでは、以降の議事を山崎先生にお願いしたいと思う。

### 3.議題

#### (1) 各種調査結果について

<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弥富市地域公共交通活性化協議会の議長を務めさせていただく公益財団法人 豊田都市交通研究所の山崎である。本日もお忙しい中、お集まりいただき感謝する。</li> <li>・ 副市長が帯状疱疹で調子を崩されているとのことだが、いろいろストレスが溜まっていらっしゃると思う。ストレスが溜まると体に出てくることがあると思うので、皆さんもご自愛いただきたい。</li> <li>・ 本日の議題は利用実態調査の結果や、協議いただく事項として「バス停の移設」がある。それ以外は報告や皆さんのご意見を伺うことになっている。</li> <li>・ 「バス運転士になろう！」というチラシがバス協会さんから配られている。特に市民代表の方々にご理解いただきたいが、バスの業界もなかなか人材不足があって大変な状況である。バスの運転士というのは、人の命を預かる仕事なので、大型二種免許を取って運転しなければいけない。なかなか運転士がいないということで、こういった活動をされて若手の運転士を育成しようという動きである。周囲の方、若者でバスや乗り物が好きだという高校生や大学生がいらっしゃったら「バスの運転士どう？」というお話をしていただけるといいかと思う。</li> <li>・ それでは、議題に入っていきたいと思う。議題(1) 各種調査結果について、資料1～4を使い、事務局より説明をお願いする。</li> </ul>
<p>事務局 (岡田)</p>	<p>○資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料1の利用実態調査結果、資料2のバス停乗降者数調査結果(OD調査)、資料3のモニタリング調査結果(利用者アンケート)、資料4の無料お試し乗車券配布結果について、説明させていただく。</li> <li>・ まず、資料1の利用実態調査結果について、平成30年9月までの状況を説明する。</li> <li>・ 乗車人員の推移についてだが、全てのルートをし合わせた1日平均乗車人員は昨年度よりも増加している。</li> <li>・ これは、昨年度の同時期を比較してみても増加している。</li> <li>・ 各ルート別には、2ページに北部ルートの状況を、3ページに南部ルートの状況を、4ページに東部ルートの状況を整理している。</li> <li>・ また、5ページにルート別乗車人員のまとめがあるので、こちらをご覧ください。</li> <li>・ 平成29年度から平成30年度への1日平均乗車人員、1便あたり平均乗車人員ともに、南部ルートの土曜日で減少している。</li> <li>・ 以上が利用実態調査結果となる。</li> <li>・ 次に資料2「バス停乗降者数調査結果」をご覧ください。</li> <li>・ 調査は9/3(月)～9/8(土)の1週間、全てのバス車内にて、シール形式</li> </ul>

	<p>の調査票を配布する形で実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2ページに回収結果を整理している。</li> <li>・ 乗車実績に対し、全体で98.4%の回収率と、ほぼ全数を把握できている。</li> <li>・ バス停乗降者数調査では、利用者の属性なども調査しており、3ページ以降にその結果を整理している。</li> <li>・ 利用者の約60%は75歳以上となっており、65歳以上の高齢者は約75%となっている。</li> <li>・ ルート別にみると、75歳以上の割合は北部ルート、東部ルートで高くなっており、高校生以下の利用はほとんどが南部ルートとなっている。</li> <li>・ 次に、4ページをご覧いただきたい。</li> <li>・ 利用目的については、「買い物」が最も多く、「公共施設利用」も多くなっている。</li> <li>・ 5ページをご覧いただきたい。</li> <li>・ バス相互の乗り継ぎ状況を整理している。</li> <li>・ 今回の1週間の調査期間の間では乗り継ぎがほとんど見られなかった。</li> <li>・ 次に、6ページをご覧いただきたい。</li> <li>・ バス停間移動について、移動の多いものを図示している。</li> <li>・ 最も移動件数が多いのは、「近鉄弥富駅南口」から「総合福祉センター」への移動となっている。</li> <li>・ また、北部ルートや南部ルートでは、「近鉄弥富駅南口」や「イオンタウン」、「弥富市役所」、「海南病院」、「総合福祉センター」を中心とした移動が多く、東部ルートでは「鮫ヶ地」「十四山総合福祉センター」間の移動が多くなっている。</li> <li>・ 7ページをご覧いただきたい。</li> <li>・ バス停別乗降者数を整理している。</li> <li>・ 「近鉄弥富駅南口」の乗降者数が最も多くなっており、以下「イオンタウン」「弥富市役所」「総合福祉センター」「海南病院」の順で多くなっている。</li> <li>・ また、「佐古木駅」や「十四山総合福祉センター」の乗降者数も多くなっている。</li> <li>・ 以上がバス停乗降者数調査結果となる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に資料3「モニタリング調査結果」をご覧いただきたい。</li> <li>・ モニタリング調査結果は、きんちゃんバス利用者を対象に、アンケート調査を実施しており123通の回収があった。</li> <li>・ 調査結果について説明する。</li> <li>・ 属性についてだが、バス停乗降者数調査結果と同様に、高齢者が多くなっており、65歳以上だと8割を超えている。</li> <li>・ 2ページをご覧いただきたい。</li> <li>・ きんちゃんバスの利用状況としては、北部ルートが多くなっており、約35%の方は複数ルートを利用されている。</li> </ul>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、利用頻度は約<b>75%</b>の方が週に1回以上利用されている。</li> <li>・<b>3ページ</b>をご覧いただきたい。</li> <li>・昨年と比べた場合の利用頻度は、「変わらない」方が約<b>40%</b>いるが、「増えた」方も約<b>40%</b>いる。</li> <li>・利用目的は、「買い物」や「通院」、「公共施設への用事・利用」が多くなっている。</li> <li>・<b>4ページ</b>をご覧いただきたい。</li> <li>・満足度は、無回答を除くと約<b>53%</b>の方が「満足」と回答している。</li> <li>・網形成計画も目標では、利用者満足度の向上として、平成32年に、無回答を除いた値で<b>50.0%</b>以上の「満足」を確保するものとしており、これを超える値となっているが、昨年度よりも減少している。</li> <li>・不満な理由としては、「本数が少ない」という意見が多くなっている。</li> <li>・<b>5ページ</b>をご覧いただきたい。</li> <li>・回数券、定期券、シルバーパスの利用状況については、昨年度と比較するとほぼ同様の傾向となっている。</li> <li>・サイクル&amp;バスライド駐輪場の利用状況については、「利用できることを知っていたが、利用したことはない」が約<b>38%</b>と最も多くなっている。</li> <li>・また、昨年度と比較すると「利用したことがある」が増加しており、「無回答」や「利用できることを知らなかった」が減少しており、認知度も向上している。</li> <li>・<b>6ページ</b>をご覧いただきたい。</li> <li>・東部ルート<small>の飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ</small>については、「乗り継ぎができることを知っているが、乗り継ぎをしたことがない」が多くなっており、「乗り継ぎをしたことがある」は<b>1.6%</b>となっている。</li> <li>・<b>7ページ</b>をご覧いただきたい。</li> <li>・バス停までの距離は、「徒歩約<b>5分以内</b>」が最も多くなっており、「<b>5分圏内</b>」でみると、約<b>64%</b>の方が比較的バス停に近い位置に居住している。</li> <li>・今後のきんちゃんバスの運行維持については「現状の費用負担で運行を維持すべき」が最も多く、「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき」も多くなっている。</li> <li>・昨年度と比較すると、「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき」が増加している。</li> <li>・以上がモニタリング調査結果となる。</li>   <li>・最後に資料4「無料お試し乗車券配布結果」をご覧いただきたい。</li> <li>・平成23年度以降毎年度実施している無料お試し乗車券の配布結果を整理している。</li> <li>・<b>2ページ</b>の配布結果をご覧いただきたい。</li> <li>・今年度の無料お試し乗車券の利用枚数は<b>962枚</b>となっており、昨年度とほぼ同様の利用枚数となっている。</li> <li>・各年の配布期間中のきんちゃんバスの利用状況の推移を見ると、昨年度</li> </ul>
---

	<p>と比較して全体では増加傾向となっており、北部ルートと東部ルートで利用者数が増加し、南部ルートで減少している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ページをご覧いただきたい。</li> <li>・無料お試し乗車券利用者の年齢層は、「15～64歳(高校生除く)」が約40%と最も多く、「小学生」の利用も約13%ある。</li> <li>・4ページをご覧いただきたい。</li> <li>・無料お試し乗車券配布以前のきんちゃんバス利用の有無について整理しており、無料お試し乗車券を通じた新規利用者は84名と、新規利用者は昨年度よりも増加している。</li> <li>・新規利用者の内訳としては、「小学生」や「15～64歳(高校生除く)」、「65歳～74歳」が多くなっています。</li> <li>・5ページをご覧いただきたい。</li> <li>・車の運転免許保有状況は、免許を持っていない方が多くなっている。</li> <li>・また、利用目的は「買い物・外食・旅行・遊びなどのお出かけ」が多くなっている。</li> <li>・6ページをご覧いただきたい。</li> <li>・今後の利用意向は、「利用したいと思う」が多くなっており、初めてきんちゃんバスを利用した人(新規利用者)においても「利用したいと思う」方が9割を超えている。</li> <li>・以上、長くなったが、これで議題(1)各種調査結果についての説明を終わる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今ご説明いただいた資料1～4、いろんな調査をされた。これに関してご意見、ご質問等あればお願いします。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後ほどの議題でも、計画の見直しがある。今回の結果を踏まえて、これはひとつの情報だが、この情報をどのように分析し、どういう問題があるのかということで、市のご担当の方ではどのような分析をされているのか、もしわかればコメントいただきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局、お願いします。</li> </ul>
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この調査によって、普段利用されている方の日常における移動手段、移動先の把握等に努めており、これを今後の改善等に向けた資料という方向に考えてはいる。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的にどういったところにつなげていくのかというところをもう少しお答えいただきたい。</li> </ul>
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動の調査によって、それぞれの皆さんの…把握させていただいて、今後のバスの見直しに向けた参考とさせていただきたい。今後、網形成計画の見直し等があるので、そちらにも活かしていきたい。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に網形成計画見直し検討についての議題がある。そこに出てくる流れの中で、今日ご説明した4つの調査は毎年ずっとやり続けている。事務局としては、常にデータを取って、きちんとモニタリングして、状況を把握していることだと思う。事務局、よろしいか。</li> <li>・こういったことからいろんな課題が見えてくる部分もある。路線の性質</li> </ul>

	も見えてきている。利用者アンケートと利用実態調査を照らし合わせてみると、利用実態調査で今回、9月の利用者がすごく減少している。事務局としては、それをどうみるのか。
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月については、台風等の天候不順があり、便によっては、半日全ての便が運休することがあったり、南部ルートにおける子どもさんたちがバスを使わずに直接行かれていることも想定はしている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういった状況が調査で見えてきている。南部ルートの利用者の実態をアンケートとか利用者実態調査を見てみると、他の路線と違って高校生の利用が多いということで、学校の状況に大きく利用状況が左右されるような路線であるということがわかってくる。</li> <li>次の見直しの時に、南部ルートは通学・通勤に特化したルートだからという考え方をベースに、ダイヤの組み方とかを考えていくというふうにつなげていくことができる。</li> <li>無料お試し乗車券も継続されて8回もやっていることは立派なことだと思う。要は、新規のお客さんをどれだけ確保できているかということを中心に把握するために調査をやっている。ただ、券をばらまくだけではなく、どういう人が使っているのかをおさえているということは、新しい利用者がどれだけいるのかという効果を把握していることになると思う。</li> <li>いろんな調査を踏まえて、来年度以降、さらにもう少し住民の調査もやりながら計画の見直しをやっていく。</li> <li>他にいかがか。</li> </ul>
竹川委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>実は、知り合いが稲荷崎・境の方にみえて、その辺の学生とかサラリーマンがなぜか木曾岬バスを利用されている。川の向こうがすぐ、隣に木曾岬バスが走っており、本当は町村外だが、近鉄駅に行くのはこのルートを利用した方が駅に到着するのが早いと聞いた。以前、直行バスをお願いしていたが、なかなかそれは…ということだった。直行バスの話をご存じないかもしれないが、そういうことを耳にしたので報告である。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局、いかがか。</li> </ul>
事務局 (岡田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>この件については、各ルートそれぞれにあると思うので、今後は市民の皆さまのご意見をお伺いしながら検討していきたいので、よろしく願います。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>当然、木曾岬さんは来ていただいているし、木曾岬バスというのは弥富の方々も使えるようなものだということである。</li> <li>先ほどの話で、通学・通勤でもし利用者があるのであれば直行バス（急行便）を…。今も南の方の工業地帯に行くようなバスで急行便は設定しているので、そういったことも考えていく必要があるというご指摘である。網形成計画の見直しの中で具体的な検討をしていくということでもよろしいか。</li> <li>他にいかがか。</li> </ul>
佐野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前にもお試しで近いところに乗ったが、今回はイオンタウンまで行っ</li> </ul>

(公募委員)	<p>た。やはり、急ぐ場合はいろんなところを回るのでちょっとあれだなと思う。のんびりと遊び気分で行くにはとてもいいと感じた。イオンに着いてからお買い物をして、そこでお食事をして、1時何分だったか乗って帰ったが、年をとって本当に時間ができたら、このバスはとても私にはいいと感じた。バスからの車窓も懐かしく、「前ヶ須はこんなになったのか」とか、いろいろと感じた。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご意見というか、感想ということである。感想に関しては特に事務局からはいいか？確かにゆっくり…、急いでいる時だと使えないが、生活の仕方そのものも、スローライフという言葉もあったりするが、いいものだと感じることができればいいのではないかと思う。</li> <li>・他によろしいか。</li> <li>・他の自治体のバスでも、なかなかこれだけきっちりと毎年調査をやっているところは少ない。すごく貴重なデータになっていくと思うので、たくさん指摘があったように、これだけの調査をやっているのだから、きちんとこれを活かして、今後検討していく。ここからの作業はいろいろ大変だと思うが、よろしく願います。</li> </ul>

### 3.議題

#### (2) ひので保育所バス停の移設について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に議題(2)ひので保育所バス停の移設について、事務局より説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (岡田)	<p>○資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひので保育所バス停の移設について、資料5を基にご説明する。</li> <li>・ひので保育所バス停は、北部ルートバス停となっており、横断歩道への押しボタン式信号機設置に伴い、移設の必要性が出てきた。</li> <li>・すでに事前確認として、警察や運行事業者、同管理者である愛知県と現地確認などの調整を進めている。</li> <li>・移設までのスケジュールとしては、今回の第2回協議会で移設について承認いただけたら、年明けの運行開始日となる平成31年1月4日、金曜日から移設後のバス停で運行を開始する。</li> <li>・また、今回のバス停移設によるダイヤ調整等の変更はない。</li> <li>・具体的なバス停の移設位置については、うら面をご覧いただきたい。</li> <li>・現在のバス停の位置を黄色の丸で、移設先を丸数字で示している。</li> <li>・上下線とも横断歩道から離すように移設する。</li> <li>・また、バス停②については、バス停①と同じような構造に歩道を改修し、バスの乗り降りがしやすい環境とする。</li> <li>・以上で議題(2)ひので保育所バス停の移設についての説明を終わる。</li> <li>・ご審議のほど、よろしく願います。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かご意見、ご質問等あれば願います。</li> <li>・よろしいか。理由としては、今まで無信号の横断歩道だったが、ここに押しボタン式の信号機がつくということで、安全上のため移設する。すでに道路管理者、交通管理者、警察にも見ていただいて確認済みである。</li> </ul>

	道路管理者、それから警察さんは特に何かよろしいか。
川瀬委員 (蟹江警察署)	・はい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この機会に警察さんに聞きたい。</li> <li>・現状のバス停の位置は、裏面の写真で見ると黄色の丸がついている。無信号の横断歩道ほど、バス停が近くにあるとすごく危険だと思う。このあたりはいかがか。今までの方が危険で、むしろ信号がついたから安全になるが、信号機があるということで離さないといけない。</li> </ul>
川瀬委員 (蟹江警察署)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理的な問題がある。ここには信号柱設置の必要性が出てくる。当然、横断歩道であるので、標識の設置の必要性もあるが、バス停が近くにあると、バスが近づいてきた際の乱横断や横断歩道を利用しないで、横断するという事も十分心配される。やはり信号機があることによって、安全に横断していただくという意味で、また、信号機の独立性ということで、バス停は離れた方がより信号機の利用をしていただく意味合いがあると思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号機がない横断歩道で、バスが停まっていたが為に対向車が見えなくて、そこを渡っている人をひいてしまったという事故もあったりする。今までがすごく危ない状況だったと改めて思う。今後、新しい計画を立てていく中で、もしこういう危険なところがあったら、未然に事故を防ぐという考え方で、移動できるようなところは移設していった方がいいのかなと思う。今後の検討で考えていただきたい。</li> <li>・バス停の移設について、ご審議いただきたい。今回のバス停移設に関して、賛成の方は挙手をお願いします。</li> </ul>
委員一同	(異議なし)《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全会一致で承認された。事務局で手続きを進めていただきたい。よろしくをお願いします。</li> </ul>

### 3.議題

#### (3) 弥富市地域公共交通網形成計画見直し検討について

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題(3) 弥富市地域公共交通網形成計画見直し検討について、事務局より説明をお願いします。</li> </ul>
事務局 (岡田)	<p>○資料6説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥富市地域公共交通網形成計画見直し検討について、資料6を基にご説明する。</li> <li>・第1回協議会でも提示させていただいた、検討の進め方について、今年度は「地域公共交通網形成計画等の見直しに向けた検討」をする予定となっている。</li> <li>・本日はそのうち、「利用特性の把握方法」「利用者、住民意向の把握方法」について、説明する。</li> <li>・2ページをご覧ください。</li> <li>・利用特性や利用者、住民意向については、例年実施している調査に加え、新たな網形成計画の目標・指標や公共交通網の再編の基礎資料とするこ</li> </ul>

	<p>とを念頭に把握方法を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査では「交通行動・移動特性」「潜在的なものも含む需要」「意向など」を把握する。</li> <li>・「交通行動・移動特性」は、例年実施しており、本日も結果を報告させていただいた「乗車人員調査」「バス乗降者数調査」「利用者アンケート」に加え、「住民アンケート」や「住民意見交換会」を実施することで、より詳細な特性を把握したいと考えている。</li> <li>・また、「潜在的なものも含む需要」を「利用者アンケート」や「住民アンケート」、「住民意見交換会」で。「意向など」を「住民意見交換会」を中心に把握したいと考えている。</li> <li>・そのほか、住民意見交換会に先立ち、きんちゃんバスなど地域公共交通の必要性などをより多くの方が知り、きんちゃんバスを支える環境を醸成し、網形成計画の見直しや公共交通網再編検討に向けた“下地づくり”を目的に、学識経験者などによる「公共交通シンポジウム」を次年度に開催したいと考えている。</li> <li>・3ページをご覧いただきたい。</li> <li>・もう少し具体的な内容を整理している。</li> <li>・上から3行目のモニタリング調査である「利用者アンケート」は、例年実施している調査ではあるが、バス利用の際の目的地施設などのバスを利用した具体的な移動特性や、バスがあったらバスで利用する施設、利用したい施設など、バスを利用した潜在的な移動需要を把握できればと考えている。</li> <li>・住民アンケートにおいては、小学校区などの地域別での集計を想定した配布数を設定するとともに、目的地、交通手段など日常の移動特性、バスがあったらバスで利用する施設、利用したい施設など、バスを利用した潜在的な移動需要、これまでも実施してきた施策の評価、ダイヤや運行経路など、きんちゃんバスの運行評価や重要視していることなども把握できればと考えている。</li> <li>・住民意見交換会は、都市マスの地域区分や運行ルート、小学校区などを踏まえた4～5地域に区分し、福寿会、女性の会などの団体も含めた各地域の代表者で実施したいと考えている。</li> <li>・来年の平成31年度は、ワークショップ形式を想定しており、よく利用する施設などの日常の移動特性や、きんちゃんバスのターゲット、運行方法など、きんちゃんに望まれるバス姿、実現方法などについて議論していただき、意向を把握できればと考えている。</li> <li>・また、平成32年度は、網形成計画の見直しの年となるので、パブリックコメントの時期などに合わせ、網形成計画の見直し内容のほか、運行方法などの再編案を示し、住民の皆さまの意見をお伺いできればと考えている。</li> <li>・以上で議題(3) 弥富市地域公共交通網形成計画見直し検討についての説明を終わる。</li> </ul>
--	--

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>何かご意見、ご質問等あればお願いします。</li> </ul>
多田委員 (名古屋タクシー協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画の見直し、さらにはきんちゃんバスの再編という意向で調査を進めるという説明をいただいた。私ども、タクシーの事業者の団体であるので、今後、タクシーをいかに活用することが可能かどうか。これは自治体の皆さま方と一緒に協議をさせていただければと思う。タクシーと言っても、普通のメーター運賃で駅からどこどこへ行くというものではなく、通常の5人乗りのタクシーであろうと、ジャンボ型の10人ぐらいの定員の車であろうと、これはタクシーという位置づけ(定義)になっているので、乗り合っていくこと、要するにバスの小さいもの、こういったことの可能性を考えさせていただければと思っている。</li> <li>すでにご案内させていただいているが、今月27日に名古屋交通圏のタクシー協議会を開催する予定である。その議題の中でもタクシーが地域の交通にどうやったら役に立てるのか、また貢献できるのか、そういった仕組みづくりのことも自治体の皆さま方にもご提案できればと思う。ただ、すぐにはできないので、11月27日は第1回の頭出しの協議会という位置づけになるが、先々、自治体の皆さま方と地域の交通の課題を共有して、タクシーで補える部分があるのか・ないのか、当然予算の問題だとか、需要が薄い部分はどうするんだ、バスが入れない部分はどうするんだ、いろんな課題がある中で、タクシーから何か提案できることがあれば地域の皆さま方と一緒に考えていきたいという趣旨なので、ぜひ調査の中でもタクシーの提案が可能となるようなデータを整備していただくと非常にありがたいと思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局、いかがか。</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大変ありがたいお話をいただいた。今後、こういった調査をしていく中で、市民の皆さまからもご意見を多数いただきながら、乗り合いタクシーについて、例えば交通空白区域だとか、そういったことができる所があるのであれば、当然利用させていただきたい。また、今後バスの形態がどのようになっていくのかといったところで、タクシーのご利用も一緒に検討して考えていきたいと思っている。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去に、きんちゃんバスの中でタクシーの検討をした。東部ルート、まさに十四山地区の路線を乗り合いタクシーにしてはどうかというような検討もしたことがある。以前、デマンド交通とか乗り合いタクシーというのがはしかのように流行って、いろんなところで議員さんが声をあげて、「デマンド、デマンド」って言っていた頃が5~6年前にあった。その頃に弥富でも検討をした。実際費用がどれくらいかかるかということで、事業者さんにも聞いてみたが、結局、バスと変わらない。乗り合いなので、乗り合いの事業者をバス事業の三重交通さんがやるのではなく、小さい車両でタクシー事業者がやるということに変わるだけで、結局積算の仕方はバス事業者と何ら変わらないような形になってしまうという話だった。時代が時代だった。そういうやり方しか考えられない時代だったということもあった。最近、いろんな事例が出てきて、タクシー事業</li> </ul>

	<p>者さんもいろんなやり方を提案されているので、ぜひ、どこの路線かはさておき、考えていってもいいかなと思う。</p>
<p>多田委員 (名古屋タクシー協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加でよろしいか。</li> <li>・すでに全国では、タクシーを使った乗り合いという、いわゆるデマンドタクシーのようなものを相当多く活用されている。そういった事例を見ていただいて、それと同じことがここでできるかどうかは、そういうことはあり得ないと思う。当然、地域の事情、状況、いろんな違いがある中で、この地にとって何が一番、お金の面でも利用者の利便性からして何がいいのかを検討していただくひとつの提案という形なので、何が何でもそれをやらないといけないわけではない。これからタクシーの業界も、全国的にこの取り組みを始めるので、名古屋交通圏だけということではない。これからタクシーが皆さま方の地域の交通にどういう形で役に立てるか、これも業界全体で考えていければと、そのキックオフの協議会が11月27日にあるので、よろしくお願いします。</li> </ul>
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぜひタクシーも考えていただきたいと思う。乗り合いではなく、一般乗用という法律の下でもやれる。それを今、豊田市で鞍ヶ池という地域があるが、そこで実験的に昨年度末から、私どもが研究成果を使って市に提案をして、実際に運行しているものがある。一般乗用なので決して不特定多数の人を乗せてはいけませんが、地元の人たちがグループを組んで一緒に動こうと乗るならいい。あるこのエリアの中しか動けないというのを決めていて、そのエリアの中だと300円で行ける。一人300円ではない。一人いくらとやると乗り合いになるので、タクシーと考えればいい。300円を3人で割ったら一人100円で行ける。そこから出ると、ちょっと高くすとか、そういう料金設定をしている。その中で実際に動かしているのも、ただ、このやり方は利用者が少ないところだとタクシー事業者も対応できるけど、利用者が多くなるとタクシー事業者が対応できないし、市の負担が大きくなる。</li> <li>・ちなみに豊田市の例だと試算値は、すごく需要の少ない中山間地域なので、バスの時は700～800万円ぐらいでやっていた。週に決まった日しか運行しないようなバスだったので、それをタクシーにかえたら費用的にはおそらく300万円ぐらいで何とかなるだろうということで半減できた。さらに利用者も増えたというそんな例もある。弥富の場合は、比較的どの路線もそんな状況ではなく、もう少し利用者が多い状況なので難しいかもしれない。そんな例もあるので、ぜひ検討していただきたい。</li> <li>・来年度は、今まで毎年やっている調査に加えて、住民意見交換会をやるということだが、これに関して、具体的な中身を事務局の方でこれから考えていく段階なので、それに向けて住民懇談会は特にどんな会にしていくべきか、どういうことをやっていくべきかということをもし意見があれば、特に市民の方々にお伺いしたいが、いかがか。</li> <li>・発言されていない方から、区長会長の伊藤さん、いかがか。</li> </ul>
<p>伊藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意見交換会だが、こういった形だけではなく…私、昔担当していた</li> </ul>

<p>(区長会長)</p>	<p>のですごくしゃべりにくいところがあるが、住民の方がお話しする中で、いろんな意見をなかなか計画に反映しにくいということがある。例えば、バス停がもっとたくさんほしいという話があったり、もっと早く行けるコースがほしいという意見があったりしたのを、いろんな事情の中でそれができなくなって、結局意見を取り入れられなくなったということも多々あった。そういったことも考えると、皆さんから出た意見を基にして、早く着くことをとるのか、すべての所を回るのをとるのかということまで含めた形のご意見をいただけるのはいかがか。これが例えば、南部ルート、北部ルート、東部ルートという3つのルートの中での話し合いになるのが一番いいかと思っているが、そこで意見が出たことについては多少反対があっても押し切ってやっていただくような強い意志でやっていただくと（自分の時はできなかったが）、良い意見交換会になるのかなと思うので、よろしく願います。</p>
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか大変だとは思いますが、外に出ると見方が変わる。先ほどお話ししたデマンドの検討をやっていた時に、ちょうど伊藤さんが課長さんだった気がする。</li> <li>・それでは、次、福寿会の三矢さん、願います。</li> </ul>
<p>三矢委員 (福寿会連合会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろご苦勞の末の数字を拝見させていただいて、私どもの仲間が一番中心になってお世話になっている。誠にありがたく思うと同時に、いろんな意味でお世話になっているなど感じている。</li> <li>・それぞれのコースもあり、それぞれの地域の住民の…住民と言っても利用していただく人を中心に考えての意見集約というのは大事なことだと思う。といっても乗ったことのない僕がいろんなことを考えるのは、浅はかな考えしか浮かばないと思って、申し訳なく思う。いずれお世話になりたいという気はあるが、現在のところ、自分でまだ運転をしているので、お世話にはなっていない。</li> <li>・いずれにしても、それぞれの地域の特性を考えながらご利用いただく人たちの意見を集約していつていただくことになると思う。予算の面とか時間的な面とか、いろいろな制約はあるだろうとは思いますが、そのあたりは押したり引いたりで皆さん方が納得できる、いわゆる枠の中での納得ということにしか結論にはならないとは思いますが、これからも願いをしたい。長年の皆さん方の、それこそ汗の結晶の結果を拝読しながら、頭を下げる場所である。</li> </ul>
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三矢さんにはぜひ一回乗っていただきたい。よろしく願います。</li> <li>・福田さん、いかがか。</li> </ul>
<p>福田委員 (民生・児童委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを利用しない理由のひとつに、時間がかかりすぎというのがあるが、今、バス停の乗降者数を見ているとほとんど乗らない地域をいっぱい走っている。7ページである。こういうところを丁寧に奥の方まで行って拾ったりしているのではないかと思っている。というのは、資料5-1だが、平島の方には申し訳ないが、スギ薬局のところはうねうねと中へ入って通っているようだが、真ん中ぐらいを通してもらえば両側から出てきて</li> </ul>

	<p>もらうと、もうちょっと早く1号線の小笠原クリニックの方へ結ばばいいのではないかと感じた。とにかく、元のところに戻ってくるのに2時間かかるバスはあまり皆さん使わない。お年寄りはいいかもしいが、用事がある乗る人にとっては本当にありがたくないバスだと私は思う。電車でも急行と準急と各駅とあるように、もうちょっとその辺のところを検討していただいたら、急いで行きたい人はそういうふうに、先に事前にここの駅へ行くと言ったところへ…全然乗らないところ結構ある。それでも駐車場はいる？</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのあたりの検討も、実は事務局の方でいろいろ、まだこの会議で出していないようなものもあるし、検討もしている。</li> </ul>
福田委員 (民生・児童委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図面を見たら、本当にえらい中まで入っているので、これぐらいは健康のためにも近い停留所まで歩いていただいたらどうかと思った。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服部さん、どうぞ。</li> </ul>
服部委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ自分としてはあまり必要としていない。遠くにあったり、時間がかかったりという話を聞くので、やはり必要とされる方の意見を取り入れて決めていただければいいかなと思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の資料の中で、意見交換会として福寿会や女性の会などの団体も含めて意見を聞くという…。</li> </ul>
服部委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは私が出るということ？</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の会に入っていらっしゃる方々に声をかけて、集めていただくことになるかと思う。</li> </ul>
服部委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の会も高齢化してきているので、その方たちの意見も聞く必要があると思う。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弥富は人口は増えている？外から若い世代が入ってくるようなことはあるのか？</li> </ul>
事務局 (伊藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口に関しては、横ばいの状況である。名古屋から近いということもあり、出・入りというところが多い。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋のベッドタウンのような形で、若い30代とか20代ぐらいの世代がたまに大企業に勤める家族…小さな子どもを連れた若い夫婦が移り住んできたりする。その中に、たまに若いけど車をあまり使わないという人がいる。東京に住んでたとか、そういう人たちが私の知り合いでもいる。そういう人たちからも意見が聞けるといいなと思う。そういう方が周りにいらっしゃったら、声をかけていただいたらいいかなと思う。なかなかいないかな。</li> </ul>
服部委員 (女性の会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その方たちが女性の会に入っただけでないと…。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のそういう活動に入ってもらうことからである。交通だけの問題ではない。</li> <li>・佐野さん、先ほど発言されたが、いかがか。</li> </ul>

佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島さんに伺いたい。私は飛島出身だが、十四山に移り住んでもう何十年も経っている。昔は、飛島タクシーを利用ということはなかったが、最近タクシーを使って海南病院に行けるという…この会議でも前にお聞きしたこともあるが、今の現状はどうなのか。もしそういうことが可能なら、弥富でも…。</li> <li>・実は、今朝も車に乗ろうとしたらドアの鍵が開かなくて「ああ、どうしよう。鍵が開かない。スペアがどっかいつっちゃって、お父さんどうしたらいいんだろう。」と、こういう時に例えば…。でも、スタンドに電話して来ていただいて開いたが…。弥富市でもタクシーがこれからそういうのができたらいいかと思う。</li> </ul>
早川委員 (飛島村役場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーの話だが、タクシー協会の方もおっしゃっておられたが、私どもも500円で海南病院まで行くデマンド型のタクシーを導入している。昨年度実績で申し上げますと、970人ぐらいの実績があった。前々年度から比べるとちょっと増加していて、だいぶ認知されているかと思う。乗り合い前提でつくっているが、ほぼほぼお一人で使っているのが現状である。高齢の方が海南病院に行かれるには非常に便利な足かと思う。</li> </ul>
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・往復か？</li> </ul>
早川委員 (飛島村役場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・片道500円である。帰ってくるのも500円である。</li> </ul>
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行きも500円、帰りも500円の1,000円。</li> </ul>
早川委員 (飛島村役場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おっしゃるとおりである。</li> </ul>
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは飛島の住民だけで、他町村…我々弥富の人は1,000円なのか？</li> </ul>
早川委員 (飛島村役場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう線引きはしていない。ただ、タクシーの乗り場が飛島村内にしかない。バス停とバス停の間にあるから、家から海南病院ではない。</li> </ul>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り場までは歩いていくということである。</li> </ul>
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結構距離はあるが、家までではないということか。</li> </ul>
早川委員 (飛島村役場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50ヶ所ぐらいある。歩いて行ける距離のところに、集落ごとにおいている。</li> </ul>
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛島村の人だけしか利用できないのか。</li> </ul>
早川委員 (飛島村役場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう線引きはしていない。村内のバス停に必ず来る。</li> </ul>
佐野委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海南病院に限るのか？</li> </ul>
早川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海南病院だけである。</li> </ul>

(飛島村役場)	
佐野委員 (公募委員)	・もちろん予約が必要なのか。
早川委員 (飛島村役場)	・行きも帰りも予約が必要である。
山崎議長	・歩くのをあまり苦に思わない方がいい。私も、今日も飛島バスを使って、神戸新田から歩いてきたが15分である。今の時期は歩いて気持ちがいい。 ・いろんな具体的な話になったが、こんな意見が出てくるといいかと思う。 ・竹川さん、何かあるか。
竹川委員 (公募委員)	・夏にきんちゃんバスの無料お試し乗車券をいただいたが、私の小学生の孫に、「バスに乗ってどこか利用しないか」と言ったら、行く先がない、行ってもその場所で楽しむことができないから小学生、僕たち・私たちがだめだと言って断られたことがあった。
山崎議長	・すごく良い話だと思う。交通は移動が目的ではなく、何か目的があってそこに行くための手段である。お出かけという言葉を我々頻繁に使っている。お出かけのきっかけをつくらうと、お出かけというのはただ移動することではなく、出かけた先に何か楽しみがあってということなので、何か目的となるようなものをつくり出すということも含めて考えていく必要がある。当然、まちづくりや都市計画とあわせて考えていくような部分もある。そういった意見を住民懇談会で引っ張り出していこうということである。 ・他にいかがか。 ・事務局から、具体的に何か聞きたいことはあるか。
事務局 (岡田)	・今のところない。
山崎議長	・了解である。こんな形で、来年度も調査を進めていき、計画の見直しを実施していくということで、事務局で具体的に進めていただきたい。

### 3.議題

#### (4) その他

山崎議長	・議題(7) その他について、事務局から何かあるか。
事務局 (岡田)	・特にない。
山崎議長	・その他、情報提供とか、委員の方々から何かあるか。 ・バス協会さんの「バス運転士になろう！」のチラシは、私が冒頭に説明した通りである。こういった活動があるので、ぜひお声がけいただきたい。 ・議題はこれですべてである。 ・事務局にマイクを返す。
事務局 (伊藤課長)	・連絡事項であるが、次回協議会は12月頃を予定している。日程が決まり次第、ご案内させていただくので、よろしく願います。 ・協議会とは直接関係ないが、二点、情報提供がある。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月9日から1週間、秋の全国火災予防運動が展開される。当市においても、各消防の分団小屋で火の用心の掲揚、又朝7時と夜7時にサイレンの吹鳴があるのでご承知おきいただきたい。</li> <li>・ 二点目だが、12月1日から10日間、年末の交通安全県民運動が展開されるのでご承知おきいただきたい。</li> <li>・ 以上をもって、平成30年度第2回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。今後ともご協力賜るようお願い申し上げます。</li> </ul>
	以上